

学習課題

興味をもったことを中心に、大事な言葉や文に気をつけて要約し、紹介する文章を書こう。

主体的に学習に取り組む態度

わかること・できること

知識・技能

- ⑦ 段落のまとまりやつながりを理解して文章の内容を捉える。(1カ)

考えること・表すこと

思考・判断・表現

- ① 興味をもったことを中心に大事な言葉や文を見つけて内容を要約し、紹介する文章を書く。(C(1)ウ)
- ② 文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめ紹介する。(C(1)オ)

くふうして学ぼうとすること

- ④ 『ウミガメの命をつなぐ』を繰り返し読み、内容などがわかりやすい要約になるよう何度も書き直ししながら、興味をもった内容や自分の考えを伝える文章を書こうとする。

振り返りの観点

- 【この単元を通した振り返り】
- ・文章の内容を要約するとき、どのようなことに気をつけましたか。
- ・自分の考えをまとめて書くときにどのような工夫をしましたか。



ゴール

【第2ステージ(6)時間】

評価 (アイウ)

〈こんな学習をしてこんな力を!〉

- ②③ 『ウミガメの命をつなぐ』を読み、名古屋港水族館が取り組んだウミガメの研究をまとめる。
- ④⑤ 『ウミガメの命をつなぐ』を読んで最も興味をもったことを明らかにし、大事な言葉や文を書き出す。また、興味をもったことを中心に要約する。
- ⑥⑦ 興味をもったことを中心に、名古屋港水族館の研究についての自分の考えをまとめる。

【第3ステージ(2)時間】

評価 (エ)

〈こんな学習をしてこんな力を!〉

- ⑧ 『ウミガメの命をつなぐ』を紹介する文章を書く。
- ⑨ 紹介する文章を読み合い、学習を振り返る。

【第1ステージ(1)時間】

〈こんな学習をしてこんな力を!〉

- ① 本を読んで内容をまとめた経験を振り返り、『ウミガメの命をつなぐ』を読んで学習課題を立てる。紹介する文章を書くために必要なことを考え、学習課題の解決の見通しとゴールをイメージする。

どのような言語活動を通してどのような力をつけてきたか?

【この単元に関わって知っていること・できること】

興味をもったことを紹介する文章を書く活動を通して、段落と段落のつながりや事実と意見の関係から段落の要点を捉える。

スタート



小学校4年『ウミガメの命をつなぐ』授業のポイント

単元名 大事な言葉や文に気をつけて要約しよう

本教材は、絶滅危惧種であるウミガメを守るために、名古屋港水族館が長年にわたって取り組んだ研究について説明した文章です。同水族館は、さまざまな工夫や努力を重ね、ウミガメにたまごを産ませてかえす研究や子ガメを海に放流して行動を調べる研究に取り組み、多くの成果をあげてきました。児童は、水族館の取り組み内容や水族館の人々の努力、ウミガメの生態など、さまざまな視点から、興味や感想、考えをもつことが考えられます。



1 単元で身につけたい資質・能力

本単元では、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する力や、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつ力をつけます。

児童は、『ウミガメの命をつなぐ』を読み、調査報告に関する大事な言葉や文に注目しながら、教材文の内容を紹介するための要約をしていきます。要約する際には、文章全体の内容を正確に把握したうえで、元の文章の構成や表現をそのまま生かしたり、自分の言葉を用いたりして、文章の内容を短くまとめることが求められます。また、内容の中心となる語や文を選び、文の量などを考えながら要約することが重要となります。このように、本単元では、「文章全体の内容を把握するための読み」や「中心となる語や文を選ぶための読み」など、重層的な読解を経て要約することが求められます。

2 評価規準

評価の観点	評価規準
知識・技能	・段落の役割について理解している。…(1カ)
思考・判断・表現	◎「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。…C(1)ウ ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。…C(1)オ
主体的に学習に取り組む態度	・文章の内容を紹介する活動を通して、段落の役割を理解し、中心となる語や文を見つけて要約することに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。

本単元における子どもたちのゴールイメージ

本単元では、『ウミガメの命をつなぐ』を読み、調査報告に関する大事な言葉や文に注目しながら、文章の内容を紹介するための要約をします。そして、自分の考えとあわせて紹介する文章にまとめます。(ここでは、リーフレットにまとめてものを紹介しています。)

第2ステージ②③の段階において、教材文全体の概要をまとめ、第2ステージ④⑤において、教材文の中から特に自分が興味をもったことを中心に要約します。更に、第2ステージ⑥⑦において、興味をもったことについての自分の考えを書きます。

第3ステージでは、前時までに取り組んだ要約や自分の考えをもとに、紹介する文章をまとめます。紹介する文章の各段落の記述内容を通して、目標の実現状況を評価します。

リーフレットの文章例

『ウミガメの命をつなぐ』
名古屋港水族館は、ウミガメにたまごを産ませてかえす研究と、子ガメを海に放流し、行動を調べる研究を行ってききました。
一九九二年当時、水族館でウミガメがさんらんすることは、どうして無理と考えられていたかが、えさや水温、すなの種類やウミガメの体調管理など、あらゆるくふうを行って成功させました。また、調査の方法をどうやって「タグ」を使ったものだけでなく、「送信機と人工衛星」を使った方法も活用するなど、十年以上かけて調査をつみ重ね、ウミガメの行動を明らかにしていききました。
私は、ふだん、うまくいかないことがあっても、あきらめず、投げ出してしまおうとありますが、おもしろいことに、戦うこと、ねばり強く努力すること、大切さを名古屋港水族館の人たちから教えてもらいました。

解説 紹介する文章の第一段落は教材文全体の概要、第二段落は興味をもったことを中心とした内容の要約、第三段落は興味をもったことに対する自分の考えを書いている。教材文全体をまとめた概要と要約の内容に重複があることから、第一段落を短くし、第二段落で研究の具体的な内容についてまとめて書くようにしている。また、「あらゆるくふう」の具体的な内容を詳しく書くことにより、第三段落に書いた自分の考えとのつながりをもたせようとしている。

ワンポイント

興味をもったことを中心に大事な言葉や文を書き出し、調べたこととあわせて100字程度に要約

興味をもったことについて大事な言葉や文を書き出したメモ					100字程度に要約した文章	
P50. L5	P49. L9	P48. L10~	P48. L7~	ページ		
しかし、タグをつける方法は、……	目印になる「タグ」をつけていた	血液を調べ体調管理の種類などをくふう	明らかに入らないように、えさ、水温、すなの種類などをくふう	ウミガメが水族館の中でたまごを産むのはどうして無理	名古屋港水族館の研究の仕方について	名古屋港水族館は、当時、どうして無理と考えられていたウミガメのさんらんをあらゆるくふうで成功させたり、調査の方法をチャタンでできた「タグ」と送信機と人工衛星の方法を活用し、何年もかけてウミガメの行動を明らかにしたりしている。
チャタンでつけている	「タグ」は	今では水族館で生まれたウミガメのさんらんも成功している	今では水族館で生まれたウミガメのさんらんも成功している	新しい情報		

解説 特に興味をもったことが明らかになるように内容を選び、「何年もかけて」など、自分なりの言葉に言い換えたり新しい情報を書き加えたりしながら100字程度にまとめている。



ラーニング・マウンテンについてはこちらから

ラーニング・マウンテン
— 学びのプランを立てよう —

たん
単元名〔

〕全()時間



みんなで解決したい問い

わかること・できること

考えること・表すこと

くふうして学ぼうとすること

【第 3 ステージ () 時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

.....
.....

【第 1 ステージ () 時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

.....
.....

【第 2 ステージ () 時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

.....
.....
.....
.....

【この単元を通したふり返し】

ゴール

スタート

【この単元に関わって知っていること・できること】

